

岩瀬湯本温泉

村の西部を流れる清流・二岐川と鶴沼川に挟まれた山間の温泉郷「岩瀬湯本温泉」は、9世紀のはじめごろ、嵯峨天皇が病氣になられ、これを癒すための温泉を探す命を受けた天皇側近の公家星右京之進のしん、若狭之助わかさのすけ、丹波の3兄弟によって発見されたと伝えられています。湯泉八幡神社には、その由緒ある伝説を今に伝える菊花紋章が残されています。

岩瀬湯本温泉は、長い間湯治場として利用されてきました。ひっそりと建ち並ぶ芽茸きの屋根の温泉宿には、昔ながらの風情と素朴な懐かしさがいっぱい。春夏秋冬をおりなす素晴らしい大自然を湯につかりながら満喫してみてください？

二岐温泉

標高1541mの二岐山山麓に湧き出す二岐温泉。その開湯の歴史は古く、およそ1200年前にさかのぼります。平家の落人の里ともいわれ、リユーマチ、胃腸病、皮膚病さらに神経疾患などに効果が。

現在の宿は全部で7軒。溪流沿いに露天風呂をもつ宿もあり、湯に浸りながら四季の移り変わりを自然のままに楽しめます。天然そのままの岩風呂と湯煙に漂う風情。山桜が散る青空、時雨の夕暮れ、紅葉の舞う静寂、しんと冷える星空など、露天風呂の醍醐味を十分に味わえるひととき。時には、キツネやタヌキなど森の住民たちもこっそり顔を覗かせます。



羽鳥湖ペンション村

白河布引山に広がる羽鳥湖高原には、オフタイムを楽しく演出してくれる個性派のペンションが満載です。高原のペンションでロマンチックに過ごすのもよし。ワイワイガヤガヤ、仲間やファミリーでの利用にも最適。

周辺には太平洋クラブ白河羽鳥湖コース、白河メドウゴルフ倶楽部の2ヶ所のゴルフコースの他、平成7年ふくしま国体テニス競技の会場としても注目の集まるレジーナの森テニスコート、原生林の林を抜けて羽鳥湖を半周するサイクリングロード、ナイター設備を備えた羽鳥湖スキージャンプ場など、さまざまなスポーツレクリエーション施設があります。オールシーズン、爽やかにスポーツ三昧！

